

2017年5月18日
北 杜 市
東日本旅客鉄道株式会社
八 王 子 支 社

中央線 小淵沢駅が生まれ変わります

～北杜市観光案内所併設の新駅舎を「エコステ」モデル駅として整備します～

北杜市とJR東日本八王子支社は中央線小淵沢駅において、地域の方々に親しまれるような、環境とバリアフリーにも配慮した新しい駅舎を協働して建設しております。現在、北杜市では小淵沢駅周辺整備事業を推進しており、駅前広場及び観光案内所及び交流スペースを併設した新駅舎を整備する事で環境性・利便性・安全性の高い交通結節点を構築します。

またJR東日本では、省エネルギー・再生可能エネルギーなど、様々な環境保全技術を駅に導入する取組み「エコステ」を実施しており、国内有数の日照時間を誇る北杜市に位置する小淵沢駅を「エコステ」モデル駅とし、新駅舎に太陽光発電設備・太陽熱利用設備を導入いたします。

2017年7月3日初電より新駅舎使用開始を予定しています。

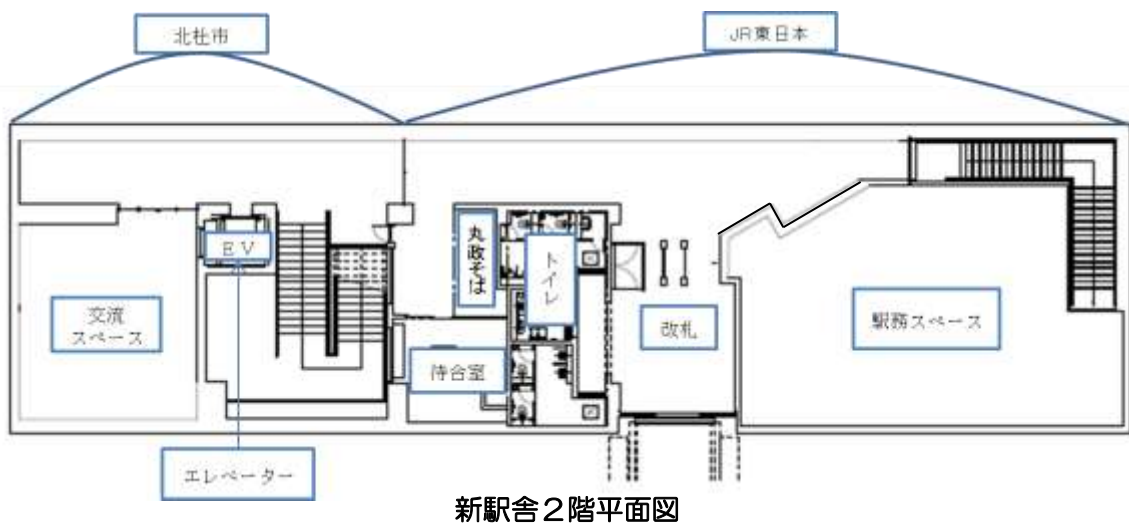
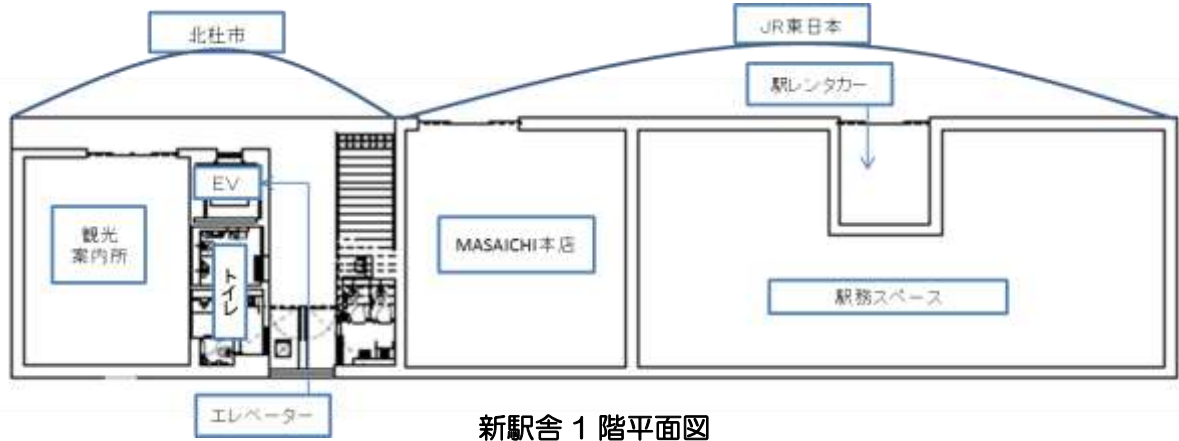
1. 計画概要

敷地面積	約 1707 m ²
建築面積	約 665 m ²
延床面積	北杜市財産：約 322 m ² 、JR東日本財産：約 658 m ²
階 数	2 階建
用 途	北杜市財産：観光案内所、交流スペース、トイレ（多機能トイレ含む） エレベーター1基
構 造	JR 財 産：駅舎、店舗、トイレ（多機能トイレ含む） 鉄骨造
そ の 他	北杜市は駅前広場整備工事も併せて実施します。 小海線ホーム、中央線ホームにエレベーター各1基ずつ整備します。



全体完成イメージパース（南側）

南側
(駅前広場側)



2. デザインコンセプト

北杜市を囲むハケ岳、南アルプスの山々とその山岳から湧き出る清流は、地域の人々と切り離せない重要な自然資産となっています。そうした山岳と清流による風景を駅舎のデザインに取り込むことで、地域の人々や観光客に親しまれ、記憶に残るような駅舎を心掛けました。カラーデザインは、自然豊かな周辺環境に調和するようブラウン系を基調としており、外部や内部の一部に木材を活用しています。



(改札前)



(交流スペース前)

駅舎内観イメージパース

3. エコステモデル駅

晴天日の日照時間帯における駅消費エネルギーを100%太陽エネルギーで賄います。

① 省エネ：「LED照明導入」（駅舎、ホームすべて）

② 創エネ：「太陽光発電設備の導入」

駅における消費電力を太陽光発電で賄います

「太陽熱給湯の導入」

駅における消費熱量を太陽熱給湯で賄います

③ エコ実感：「待合室への太陽熱暖房導入」

温水をパネルヒーター及び床暖房に通水し、
待合室の暖房を行います

「エコ表示モニター」

太陽光発電の発電量、使用電力量等エネルギーの使用傾向を把握できる表示を行います

「屋上展望デッキ」

周囲を一望でき、八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、日本三大巨峰（富士山、北岳、奥穂高岳）
等の雄大な自然、そして美しい星空を見ることができます

④ 環境調和：「自然に調和した駅舎デザイン」

「植樹（鉄道沿線からの森づくり）」

鉄道沿線からの森づくりににつきましては、内容が決まり次第別途お知らせいたします。



全体完成イメージパース

※各イメージパースについては、イメージであり実際とは異なることがあります。